

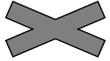
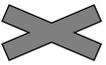
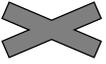
# 「段階的な老朽化対策」プラン案について

---

「段階的な老朽化対策」として、次頁以降の項目毎の対策を組み合わせ、最も理想的なプランをAプランとし、順番にBプラン、Cプランの3プランを作成。

- Aプランは、自動車事故被害者等のニーズを最大限に反映させるとともに災害対策等を十分に盛り込んだもの。
- Bプランは、自動車事故被害者等のニーズを適切に反映させたもの。
- Cプランは、例えば機能別に専用部屋を設けるところを同種機能で兼用させる等の工夫を設けることで、整備面積を最小限に抑制したもの。

	Aプラン	Bプラン	Cプラン
主な内容	・ 被害者ニーズへの十分な対応	・ 被害者ニーズへの必要な対応	・ 被害者ニーズへの必要な対応
	・ 緊急時への十分な対応	・ 緊急時への必要な対応	・ 緊急時への必要な対応
	・ 十分な感染対策	・ 必要な感染対策	・ 必要な感染対策
	・ 敷地面積を最大限に活用	・ 敷地の有効活用	・ 整備面積を抑制

項目	レベル3	レベル2	レベル1
1. 病床について			
①病床の位置 (高さ)	<input type="radio"/> 西棟・東棟を嵩上げ <input type="radio"/> 1 F に病床を設置 	<input type="radio"/> 西棟・東棟を嵩上げしない <input type="radio"/> 2 F 以上に病床を設置 	<input type="radio"/> 西棟を嵩上げ <input type="radio"/> 西棟 1 F に病床を設置 <input type="radio"/> 東棟は嵩上げしない <input type="radio"/> 東棟 2 F に病床を設置 (西棟と東棟に段差があり、東棟の活用が困難) 
②病床のタイプ	<input type="radio"/> 3 タイプの病床 (大部屋・中部屋・個室) を設置 <input type="radio"/> 短期・中期入院用の専用病床を設置 	<input type="radio"/> 3 タイプの病床 (大部屋・中部屋・個室) を設置 <input type="radio"/> 短期・中期入院用の病床は長期入院用と兼用 	<input type="radio"/> 大部屋方式 <input type="radio"/> 患者の特性に応じて仕切り板を設置 
③患者プライバシーの確保	<input type="radio"/> 男女別病床を設置 	<input type="radio"/> 男女別病床を運用上で確保 	<input type="radio"/> 現状維持 (男女混合の病床) 
④感染症対策のための部屋	<input type="radio"/> 陰圧室 4 つ設置 (専用の陰圧室が 2 つ、言語聴覚療法室と兼用の陰圧室を 2 つ) <input type="radio"/> 可変式感染隔離ゾーンを組み合わせる 	<input type="radio"/> 陰圧室を 4 つ設置 (専用の陰圧室が 2 つ、言語聴覚療法室と兼用の陰圧室を 2 つ) 	<input type="radio"/> 陰圧室を 3 つ設置 (専用の陰圧室が 1 つ、言語聴覚療法室と兼用の陰圧室を 2 つ) 
⑤感染状況に応じた病棟フロアのゾーニング	<input type="radio"/> 感染者数に応じて感染隔離ゾーンを設置 (感染隔離ゾーンを自在に変更可能) 	<input type="radio"/> 感染隔離ゾーンを設置 (感染隔離ゾーンを固定) 	
⑥空調設備の整備	<input type="radio"/> 病床ごとの個別空調管理 	<input type="radio"/> 空気の流れを考慮して吸気・排気装置を適切に設置 	
⑦車いす保管場所の確保	<input type="radio"/> 個々の病床サイドに保管 		<input type="radio"/> 車いすをまとめて保管 

項目	レベル3	レベル2	レベル1
2. 病床以外のスペースについて			
①-1 リハビリ室	○PT・OT・STそれぞれのリハビリ室を設置 (A)(B)	○PT・OTの大部屋とSTの小部屋を設置 ○大部屋は区切り可能とする (C)	○大部屋のリハビリ室設置 ○大部屋は区割りして使用 
①-2 ADL 訓練室	○ADL 訓練のための専用の部屋を設置 (A)	○リハビリ室にADL 訓練が可能な設備を設置 (B)(C)	
①-3 デイスペース	○専用部屋を各階に設置 ○イベント等にも使用できる多目的ルームとして活用 (A)	○病床に併設させる形でスペースを確保 (B)(C)	○ベッドサイドに機動的にスペースを確保 
②-1 面会室	○患者と家族が長時間くつろげる面会室を設置 ○一緒に宿泊も可能とする (A)	○患者と家族が長時間くつろげる面会室を設置 (B)	○患者と家族との面会室を設置 (C)
②-2 患者家族同士の交流スペース	○患者家族同士が自由に交流できる専用の部屋を設置 ○外部から直接入室可能 (A)(B)	○職員が使用する会議室を交流スペースとして兼用 (C)	○待合室を交流スペースとして兼用 
②-3 再入院患者への対応	○療護センターを退院後に再び入院する患者向けに専用の病床・リハビリ室を設置 (A)(B)	同左 (ただし、リハビリ室は長期入院患者と兼用) (C)	○再入院患者は長期入院患者向け病床・リハビリ室を利用 
②-4 再入院患者受入れのための外来窓口	○再入院患者の体の状態を把握するための検査や診察、車いす・装具の調整などを行う専用の部屋を設置 (A)(B)	○専用の部屋ではなく、他のスペースと兼用 (C)	--- (設置しない) 

項目	レベル3	レベル2	レベル1
③外気浴や散歩などに必要なスペース	○屋上に外気浴・散歩のための専用スペースを確保 ○外出訓練のためのVRルームを設置 ◎(A)	○屋上に外気浴・散歩のための専用スペースを確保 ◎(B)(C)	○駐車場の緑化エリアを外気浴や散歩スペースとして活用 ✕
④スタッフ環境の整備	○研修スペースの確保やe-learningの導入など職員のための研修を充実 ○WEB会議等リモート環境を整備 ◎(A)(B)(C)		現状維持 ✕
3. 設備について			
①不測の事態への備え	○災害時に通常と変わらない病院機能を3日以上維持できる電源を確保 ◎(A)	○災害時に医療機器や空調設備を3日以上維持できる電源を確保 ◎(B)(C)	現状維持 ✕
②施設外への脱出機能	○2F以上に病床を設置する場合に外部に安全かつ迅速に避難できるスロープを設置 ◎(A)	○災害時でも外部に脱出せずに済む施設とすることを基本としつつ、外部への避難経路を確保 ◎(B)(C)	
③電気設備・電源設備、給湯用蒸気ボイラー室の整備	○高潮による浸水、騒音や振動による影響を病棟フロアに与えない設備とメンテナンスのしやすさに配慮した設計 ◎(A)(B)	○屋上など病床フロアから独立した位置に電気室などを整備 ◎(C)	
④給排水設備の整備	○様々な排水（生活排水や特殊な排水）に対して適切な処理を行うとともに、環境負荷を低減するための浄化設備を整備 ◎(A)(B)(C)		

項目	レベル3	レベル2	レベル1
⑤医療用ガス等の供給設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療ガス配管設備は、供給源設備を1ヶ所にまとめて設置し、配管を通じて手術室・病室などへ医療ガスの供給を行う設備を整備</li> <li>○平時に加え、地震などの災害時における安全性確認のため、供給設備の状態を遠隔で監視 <b>(A)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療ガス配管設備は、供給源設備を1ヶ所にまとめて設置し、配管を通じて手術室・病室などへ医療ガスの供給を行う設備を整備</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>(B)(C)</b></p>	
<b>4. 部門の配置について</b>			
①診療部門の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての診療に欠かせない診断・治療・検査等の全部門を機動的に配置</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>(A)(B)(C)</b></p>		
②患者食を作る厨房と病棟の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各病棟フロアに厨房を設置</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>X</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状維持（東棟の厨房を活用）</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>(A)(B)(C)</b></p>	
③病床と機械浴室の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病棟フロア毎に機械浴室を配置</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>(A)(B)(C)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病床から機械浴室までの移動時間や距離を考慮した配置</li> </ul>	
④患者専用トイレの位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ADL訓練用のトイレを各病棟フロアに設置</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>(A)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各病棟フロアに患者の状態に応じて使用可能なトイレを設置</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>(B)(C)</b></p>	
⑤医療材料室の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病床フロア（2F・3F）に常時使用する物品をストックするための簡易的な保管室を設置</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>(A)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療材料の収納、発注や在庫管理を統一的行うための部屋を集約して設置</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>(B)(C)</b></p>	

項目	レベル3	レベル2	レベル1
5. 東棟の活用について			
東棟の活用策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嵩上げした東棟1Fを改修し、病棟・リハビリ室等患者スペースとして利用</li> <li>○空調などの設備更新や既存設備の地上化を実施</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東棟2F・3Fを改修し、病棟・リハビリ室等患者スペースとして利用</li> <li>○空調などの設備更新や既存設備の地上化を実施</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建物改修などはせず、1Fを病棟・リハビリ室等患者スペースとして利用</li> </ul> 